

平成 21 年度（2009 年度）第 2 回

中野区都市計画審議会説明資料

目 次

【 報 告 事 項 】

1. (仮称) 南部防災公園の都市計画について 1
2. 中野区都市計画マスタープランの改定について 7
 - ・ 中野区都市計画マスタープラン 別冊

平成 21 年（2009 年）7 月 16 日
中野区都市計画審議会事務局

(仮称) 南部防災公園の都市計画について

区では、南台一・二丁目地区において防災街区整備地区計画を決定し、広域避難場所に指定されている東京大学附属中等教育学校一帯を中心とした防災拠点の形成を目指している。また、本地区は、東京都の「防災都市づくり推進計画」における重点整備地域に指定されており、早期に防災性の向上を図るべき地区でもある。

都市計画公園の位置は、広域避難場所に整備する防災公園として、広域避難場所の機能強化を図るとともに、防災街区整備地区計画による避難動線の合理性を図る点から構想した。

1. 都市計画公園の内容

- 都市計画公園の種別
近隣公園
- 都市計画公園の名称
第3・3・114号南中野公園
- 都市計画公園の位置
中野区南台一丁目地内(図-1)
- 面積
約1.0ha

2. これまでの経過と今後の予定

平成21年

- | | |
|-------|-------------------------|
| 3月30日 | 第1回地域説明会(南中野地域センター) |
| 4月14日 | 都市計画審議会へ報告 |
| 5月15日 | 第2回地域説明会(南中野地域センター) |
| 6月19日 | 都市計画決定の素案説明会(南中野地域センター) |
| 7月16日 | 都市計画審議会へ報告 |
| 7月下旬 | 東京都同意 |
| 8月中旬 | 都市計画案の公告・縦覧 |
| 9月中旬 | 都市計画審議会諮問 |

東京都市計画公園の変更(中野区決定)(素案)



東京都市計画公園に第3・3・114号南中野公園を次のように追加する。

- 種別 : 近隣公園
- 番号 : 第3・3・114号
- 公園名 : 南中野公園(仮称南部防災公園)
- 位置 : 中野区南台一丁目地内
- 面積 : 約1.0ha

参考資料

(仮称)南部防災公園整備スケジュール(案)

地域まちづくり担当

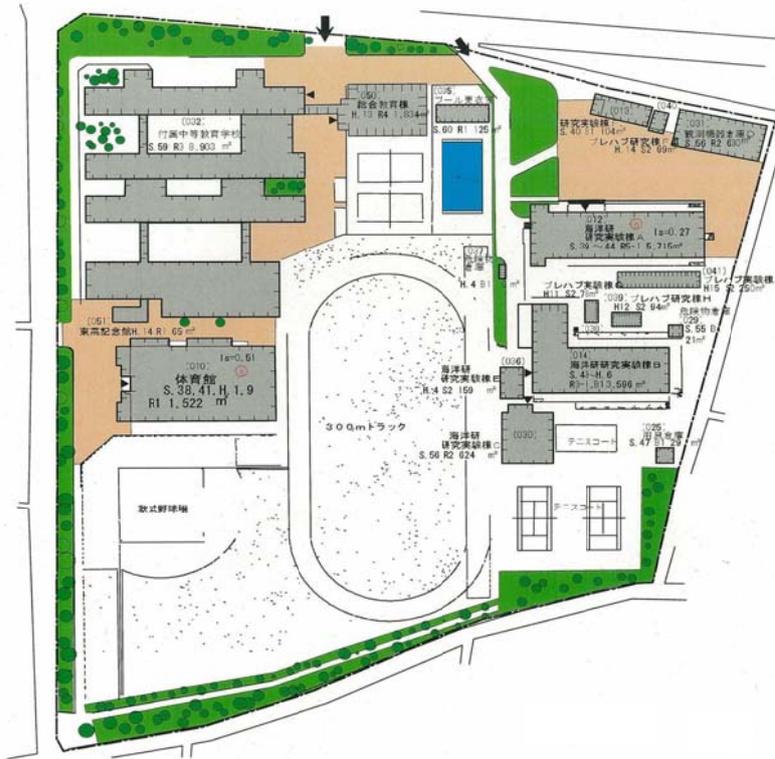
		平成21年度				平成22年度				平成23年度				平成24年度(密集事業終了)			
		4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
区	公園整備 (都市公園防災事業)	都市計画決定・事業認可				基本計画・設計				実施設計				整備工事			
	道路整備 区画道路第9・12・13号 (密集事業)					基本計画・設計				実施設計				整備工事			

(参考)

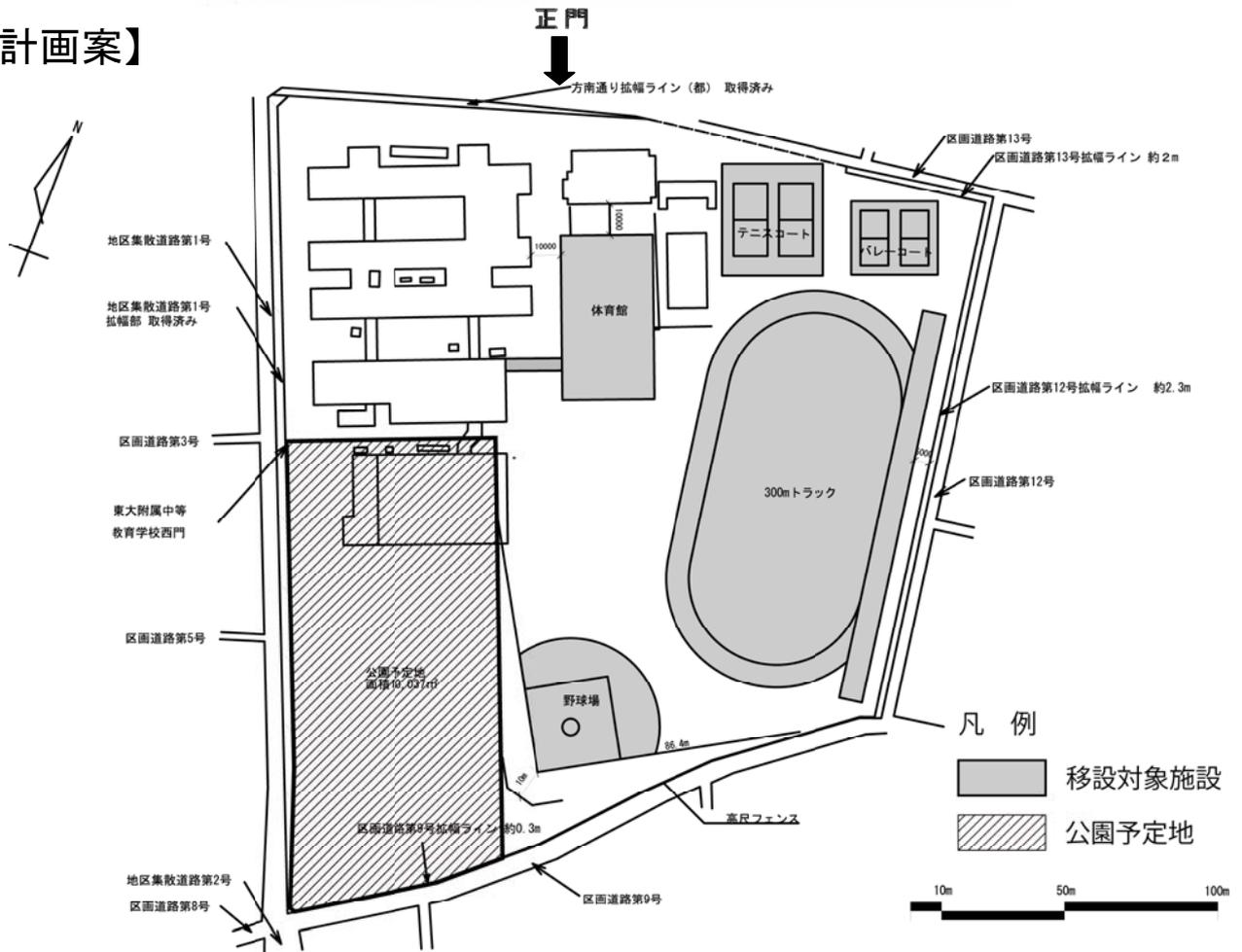
		平成21年度				平成22年度				平成23年度				平成24年度(密集事業終了)			
		4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
東大	海洋研究所	1~3月 移転				除却工事											
	運動施設移設	基本計画・設計				実施設計				運動施設移設工事							
	体育館移設	基本計画・設計				実施設計				体育館移設工事							

東大附属中等教育学校 体育施設 配置イメージ図

【現状】



【計画案】



(イメージ図であり確定していません)

(仮称) 南部防災公園整備等についての第2回住民説明会

1. 日 時 平成21年5月15日(金) 午後7時～8時30分
2. 場 所 南中野地域センター洋室1・2号
3. 参加者 区民37名、東京大学と共催
4. 主な質疑内容(→: 当日の回答)

①校舎の移設あるのか。広域避難場所として、災害時は東大附属の施設を提供するということか。

→校舎の移設はない。災害時については、学校の施設を提供することとなっている。

②万年塀の撤去は公園周囲のみということか。

→既存の万年は塀すべて撤去する。今の想定では、公園部分にはフェンス等は設けない。ただし、学校部分は教育施設のため生徒の安全面からフェンス等が必要である。

③公園整備にあたって、東大附属のみどりが失われる心配はないのか。

→公園整備にあたっては、既存樹を最大限生かしていきたいと考えている。

④東大附属のグラウンドの地下に、防火水槽を設けられないか。また、防災公園に備蓄倉庫は設置しないのか。

→防火水槽の設置は、公園敷地内で考えていきたい。備蓄倉庫は、主に避難所である区立小・中学校に設置しているが、(仮称) 南部防災公園への設置も検討したい。

⑤東大附属の東側、南側、北側の地区計画道路の拡幅はしないのか。また、地区計画道路の新設部分の完成はいつごろか。

→東大附属周辺道路については、公園整備にあわせて拡幅整備をする予定である。また、新設道路については、平成24年度頃までに完成させたいと考えている。

⑥災害時、広域避難場所に9,900人が避難してやっていけるのか。例えば、トイレなどは大丈夫なのか。

→公園を設計する際には、災害時を想定して必要となる設備等を検討していく。

⑦災害時の危険度は、渋谷区も高い。隣接区からの避難で、9,900人の計画避難人口など軽く超えてしまうのではないのか。

→都の広域避難場所の指定では、東大附属への避難に渋谷区の方は含まれていない。

今後も、避難人口を増やすため周辺建物の不燃化を促進していきたい。なお、隣接している渋谷区とは、連携を取りながら不燃化促進について働きかけたい。

(仮称) 南部防災公園都市計画決定素案説明会

1. 日 時 平成21年6月19日(金) 午後7時～午後8時10分
2. 場 所 南中野地域センター洋室1・2号
3. 参加者 区民18名
4. 主な質疑内容(→: 当日の回答)

①現在計画されている防災公園の配置は、方南通りに面する海洋研究所跡地側のほうが良いのではないかと。

→公園の配置計画については、平成11年の有識者会議の提言を受け、東大附属の校地全体を対象に配置を検討した結果、現在のものとなっている。また、南台一・二丁目地区は東西方向の避難路が弱いと、地区計画に基づき東西方向の道路整備を重点的に行っている。これらの道路との連続性を確保するなど、より安全に避難できるようにこの公園の配置とした。

②広域避難場所東側にある、区画道路第12号は学校側と高低差がかなりあり、災害時に東大附属の正門まで回るのは困難だと思う。東側の対応をどう行っていくのか。

→東側区画道路第12号は東大側に約2mセットバックし6m道路へ拡幅を行う予定である。道路の拡幅工事にあわせて、東側道路からも、災害時の避難ができるような工夫を東大と検討していきたい。

③公園施設に関して、防災公園としてだけでなく、普段の公園として運動などができるような南中野地域の広場のようなものを作ってほしい。

→公園施設については、日常的にはみどりの多い憩いの場となるような公園を目指している。また、防災活動の場としての広場を確保する方向だが、公園の具体的な整備計画案については、今後地域に計画を示しながら進めていく考えである。

④完成した公園の姿は、江古田の森公園のような高低差のある散歩道をつくるのか。それとも平らな公園なのか。また、公園は防災訓練に使用できるのか。

→現在、公園整備について新たに高低差を設けることは想定していない。また、防災訓練にも使用できるように検討をしていきたい。